

常任委員会の審査報告

総務常任委員会

一般会計補正予算、針道財産区特別会計補正予算等について

問 国際交流基金の補正後の残高はいくらになり、どの程度の事業が実施できるのか。

答 市民の翼等、国際交流関係の事業は毎年1,000万円程度の事業費であり、すべて基金からの繰入れで賄っている。今年度末の残高見込みは1億1,800万円程度で、現在の事業規模であれば約12年間分の事業費である。

問 定住促進住宅取得奨励金の現在までの実績は。

答 28年度は8,239万円の決定を行った。29年度は8月末現在で2,191万円の決定を行っており、現在、安達地区で多くの宅地分譲があり、年間では28年度と同程度と考えている。

問 電算システムの改修は、年金の業務においてマイナンバーをどのように利用するための改修か。

答 日本年金機構とマイナンバーを使っての情報照会や情報提供など、情報連携を行うためのシステ

ム改修である。

問 針道財産区において、売り払った林産物とはどのようなものか。

答 杉の用材やチップ材等である。



机上審査の様子

市民産業常任委員会

一般会計補正予算等について

問 杉田住民センターの屋根防水修繕は、全面改修となるのか、一部改修となるのか。また改修はどのような工法で行われるのか。

答 雨漏りの原因となる箇所の特が困難であることから、全面改修を予定している。また、工法については、屋根全体を覆う、囲い込み工法を予定しており、この工法については、現在改修を行っている杉田住民センター体育室と同じ工法である。

問 農業原発事故対策事業において、石灰資材を購入し、散布を行うとのことだが、散布範囲は市内の草地で一律となるのか、放射線量の高い箇所のみとなるのか。

答 本年11月に草地の土壌調査を予定しており、土壌中のpHの値を確認したうえで、酸性が強い土壌に対して石灰の散布を行う予定である。

問 農業委員の選出が公選制から任命制となるが、19名の選出要件等はあるのか。

答 法律に規定されている条件として、1点目は農業委員の過半数以上は認定農業者であること、また、努力規定として女性、若者を選出するという規定がある。2点目としては委員の1名以上は中立的な立場の者から選出するようになっており、具体的には、弁護士や司法書士等の職業に就いている者、または会社員や商工業者等から選出することとなることから、委員の選出にあたっては公平・公正な選出となるよう努めていく。



机上審査の様子

議案の審査は4つの常任委員会に分けて行っています。(決算に関する議案を除く。)
9月定例会の審査の主な内容をお知らせします。

建設水道常任委員会

一般会計補正予算、二本松市都市公園条例の一部を改正する条例制定について

問 減容化施設建設に伴う交通量増加対策の市道整備ということであるが、原発事故関連で国・県がやるべき事業ではないのか。

答 県道原町二本松線については、国・県が整備を実施するが、減容化施設付近の県道に接続する市道熊野谷線は、非常に狭い市道であり、減容化施設が稼働すると、一般車両の迂回路として交通量が増える可能性があり、その中でも特に狭い区間である4箇所の局部改良を計画し、今回、測量設計委託料及び土地購入費を計上したものである。財源については、現時点では一般財源を充当することとしているが、原発事故が要因している事業であることから、何らかの特定財源を検討していきたい。

問 都市公園法及び都市緑地法改正の概要は、どのような内容となっているか。

答 公園内に保育所などの施設や、公園管理者以外の民間事業者が飲食店などの収益施設の設置が可能となったものである。



現地調査の様子（市道熊野谷線）

文教福祉常任委員会

一般会計補正予算等について

問 大山忠作美術館の指定管理者の定める利用料金について、設定の期限は。

答 期限は定めていないが、イベント等の際には告知も含め、事前に協議することとしたい。

問 大山忠作美術館を指定管理にする理由とそのメリットは。

答 指定管理にすることで通年的に専門スタッフが雇用でき、専門知識が継続されきめ細やかなサービスが提供できることである。

問 東和小学校太陽熱利用設備修繕について、これまでの経緯は。

答 集熱パネルが高温化し、圧力異常により不凍液が安全弁から噴き出した。この設備は平成22年度開校から設置されており、設備については不凍液を循環させるもので、基本的には暖房設備として利用される。修繕の経緯は平成23年5月、平成24年8月、平成26年11月に同様の事案があり、今年

5月に不凍液がすべてなくなっていた。修繕の主なものは不凍液の補充で、その不凍液はドイツ製で使用量が1,100kgで費用の大半を占める。



机上審査の様子